

厚生労働科学研究補助金（労働安全衛生総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

教材の作成と講義の試行に関する研究

研究分担者 岡野 聡 愛媛大学理工学研究科 助教

研究要旨

ミャンマーの大学で日本式の安全講習会を開催するため、オリジナルの英語教材を作成し、講義を行った。

A. 研究目的

最大都市ヤンゴンの近郊Thilawaに我が国とミャンマー政府とが協力して大規模な工業用地を開発し日本企業を誘致しているが、ミャンマーでは安全衛生といった、人の生活の基本についての知識導入や啓蒙活動は不十分である。また政府は、その重要性については理解しているものの法体系の整備も遅れ、現状ではそこまで手が回っていないというのが現状である。

本研究は、ミャンマーの工科大で日本式の労働安全衛生に関する講義を継続的に開講し、日本的な安全衛生習慣を持った技術者を育成することを目的としている。その中で研究分担者は、リスクアセスメントや指差し確認、KYTなど日本の企業において日常的に実施されている安全対策について、試行講義の分担試行を行った。

B. 研究方法

ミャンマーにおいては安全衛生に関する法整備はもちろん、研究室・工事現場・工場等における危険性についてはほとんど認知されていない。そのためミャンマー海洋大学（MMU）において、講義及び実習を行った。講義の内容としてはリスクとハザードの違いについて説明を行い、リスクアセスメント、5S、指差し確認の実習を40分程度行った。

（倫理面への配慮）

本研究は、ミャンマーの各大学において安全管理についての講義を行ったものであり、実験等は一切行っていない。そのため、倫理面への問題はないものと判断した。

C. 研究結果

50～60名ほどの教員及び学生が受講した。講義形式ではあまり反応は見られなかったものの、意見を求めたり、グループワークを実施する際には、非常に活発にかつ興味深々に取り組んでいたのが印象的であった。ミャンマーにおいては安全面に関する意識及び法令に関してはまだまだ未整備であることから、今回のような講義は非常に有効であったものと考えられる。。

D. 健康危険情報

総括研究年度終了報告書に記入

E. 研究発表

該当なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし